

◎10月14日(日)開催 第3041回例会
単独例会/六甲山の魅力探求シリーズ

「東六甲山地の地層を訪ねる」に参加して

布引支部 松本 良一

東六甲の裏側、「蓬莱狭」へは、随分と昔に行ってはいるが、今回の計画コースにある「ナガモッコク尾根」がどんなところか、大変興味があったので参加しました。

宝塚から登山コース入口までは阪急バスで行くのですが、休日というのにこの時間帯に2便があるのみ。あとで知ったのですが、吉野会長の機転の利いた時間計画により、後発のバスに全員漏れることなく乗車出来たのでした。



講師の説明に熱心に聞き入る参加者

座頭谷で下車し、少し戻った広い場所で集合。軽いストレッチで体をほぐす。指導はSさん。ここで蓬莱狭やこの周辺の地層などについての詳しいお話を聞くことが出来ました。説明して下さったのは山岳連盟で役員をされておられる藤崎先生。分かりやすい解説なので皆さん熱心に聞いておられました。



鋸の歯の様な岩峰を見せる蓬莱狭

ナガモッコク尾根尾根の入口は、手前のしるべ岩方向へ少し戻ったところから入るようです。



砂防ダムが奥へ連なる座頭谷

こんな山に似つかないようなすてきな石畳の道路脇で記念撮影。いつの間にか広報写真係とされているため、役柄上いつも出来栄えを気にしています。((´▽`))・・・ホント！！



参加者 40 名全員集合

石畳が終わった地点からものの 30 メートル程地道を進んだ所が尾根への取付き点でした。確かに誰かが目印のテープを付けてはいるものの、雑草に覆われて分かりづらい場所です。



ナガモッコク尾根への取付き点

地形図で確認すると取付点の標高は 180M ぐらいか。ところが入った途端、いきなりの急登である。ガシた足元に注意しながら、古いロープや立ち木に頼りながら、必死で登ります。



導水パイプ？何処へ？破れて水が噴き出していた

標高で確認したら僅か 70 メートル程しか登っていないのに、早ゼイゼイ息が弾みました。そこから再び登りにかかり、同じぐらい登ると少し見晴らしのきく尾根に出た。ここからは尾根通しの道が続いていた。何分にも道は狭いので、一列歩行。40 人も歩くと、長蛇の列となる。幸い他の登山客はいないので良いが、同じようなパーティが反対から来たら、かわすのに大変だろうな・・・と思いながら進んだ。



休憩を取った場所は何処だか分らなかったが、標高 470M ぐらいであったように思う。ここから最後尾を歩いたので、前を見失しなわないように歩いていくと、六甲山特有の笹原が出てきた。そろそろ岩原山の近くか？と思う間もなく、山頂に飛び出した。実に 12 時ジャス

ト！予定通りの時間着でありました！



岩原山山頂（宝塚最高峰 573M）の標識

昼食は思い思いの場所でユックリと取り、出発前には今日の為にわざわざ同行して下さった環境省神戸保護官事務所勤務の寺内自然保護官からいろいろお話をして頂きました。



自然保護官のお話聞き入る皆さん



縦走路出合いの道標

下りは縦走路に出て、一路宝塚へ。大変有意義な例会でありました！

ところで、ナガモッコクとは？・・・と会長に尋ねたと所、「モッコクという常緑の樹のことやろと思う。この尾根では見たことない！もっとも、どんな樹がよう知らんわ！」・・・と言うことでした！ 完

天 候 晴れ

参加者 40 名（内会員 36 名）